

## 台風進路予報円及び暴風警戒域をより絞り込んで発表します

数値予報技術等の改善を踏まえ、台風進路予報の予報円の大きさ及び暴風警戒域<sup>※</sup>を現在よりも絞り込んで発表します。

気象庁は、台風の進路を予報する際には、予報の誤差を考慮して、台風の中心が70%の確率で入ると予想される範囲を円（予報円）で示しています。

近年、数値予報技術等の改善により台風進路予報の精度が向上していることを踏まえ、台風進路予報の予報円の大きさ及び暴風警戒域<sup>※</sup>を現在よりも絞り込んで発表するよう改善します。特に、3日先以降の予報円が大きく改善し、5日先の予報円の半径はこれまでと比べて最大40%小さくなります（別紙）。

この改善は、本日6月26日以降に発生する台風に対し適用します。

今回の改善により、タイムラインに沿った自治体の防災対応や住民の皆様の防災行動をより適切に支援できるようになることが期待されます。

気象庁では、引き続き台風進路予報精度の向上に取り組んでまいります。

※台風の中心が予報円内に進んだ場合に風速25m/s以上の暴風となるおそれのある範囲

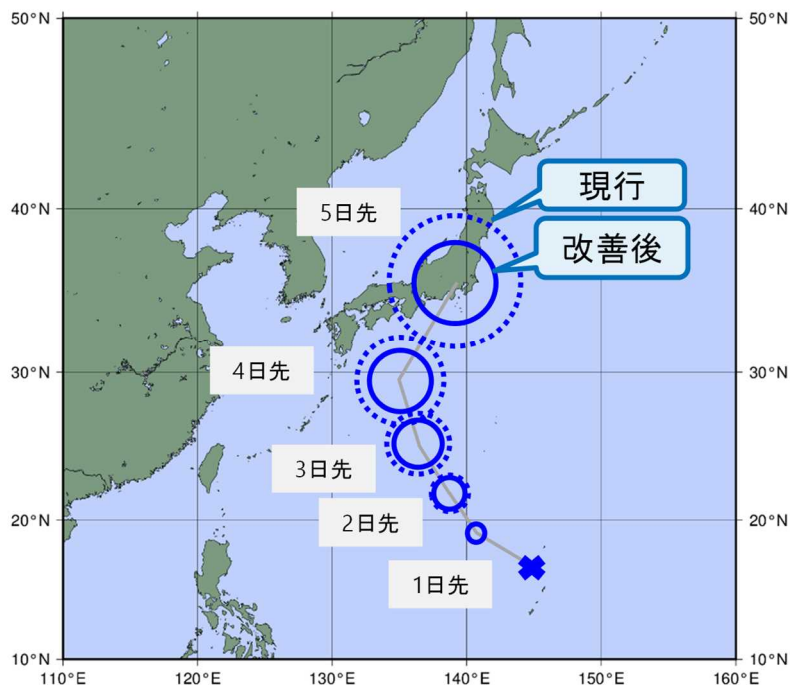
### 【台風の進路予報】

<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

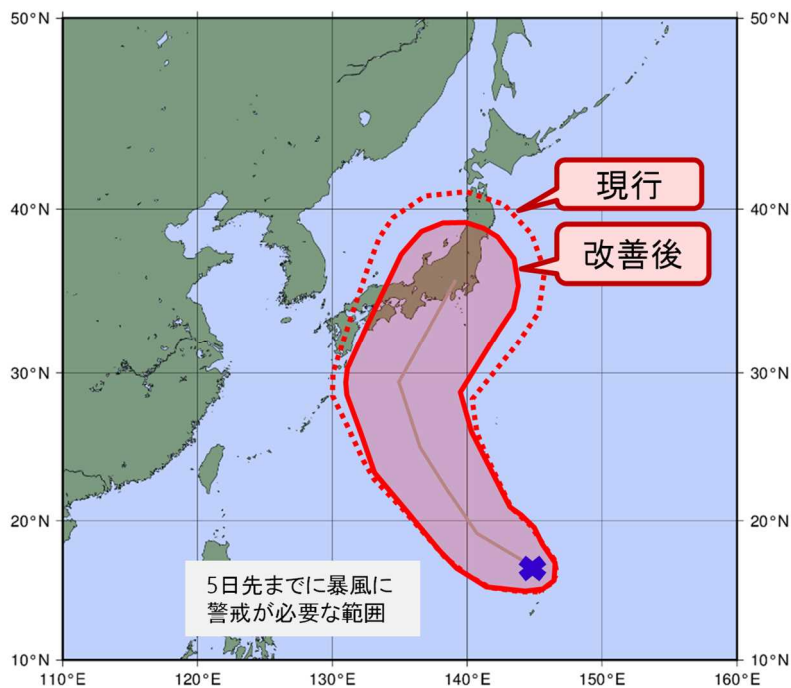
問合せ先：

気象リスク対策課アジア太平洋気象防災センター 担当 吉松  
電話 03-6758-3900（内線 4232）

### 予報円・暴風警戒域の改善イメージ (令和元年東日本台風の例)



予報円の改善イメージ



暴風警戒域の改善イメージ